

かわさきちょうせんしょきゅうがっこう みな  
川崎朝鮮初級学校の皆さんへ



ワンコインクラブ

11月



**バラ**【バラ科 バラ属】

外国の花、というイメージがありますが、日本に昔から生えていたタイプのバラもあります。お花屋さんで見かける華やかなタイプのバラがご家庭で栽培されるようになったのは明治時代からです。バラは世界中で愛されている花で世界中で栽培されています。切り花は、アフリカのケニア・エチオピアや南米のコロンビア、アジアではインド・韓国でもたくさん作られ輸出されています。

**【注意!】**茎についているトゲは、バラにとって大事な服のようなもので、バラの生長に大切な役目をしています。怪我をしないよう、注意して飾りましょう。



**ユーカリ**【フトモモ科 ユーカリ属】

オーストラリアが原産です。日本での観賞用ユーカリは、60年くらい前から栽培されるようになりました。コアラが食べる植物として知られていますが、お花さんのタイプとはちょっと違います。香りも楽しんでみてください。ポプリとして利用されることもあります。品種によって実をつけるものもあり、切枝としても人気があります。ところでフトモモは蒲桃（ふともも）という植物名が由来です。



**植物の種類について**



大昔から人は、自然はいったいどうなっているのかという事を疑問に思っていました。その一つが「植物にはどれくらいの種類があるのだろうか?」という事です。今でも研究している人が世界中に大勢いて、研究は続いています。おおよそ20~30万もの種類があるとされています。

リーフレットの、お花の名前と一緒に書いてある ○○科 ▲▲属 という「科」や「属」とは、お花の種類の名前です。だいたい両方書いてありますが、「科」という方が「属」より大きなくりのグループです。例えばナス科には、ナスもトウガラシも含まれますが、ナスはナス属、トウガラシはトウガラシ属の植物です。ナスとトウガラシはなんとなく似ていますね。更にトウガラシ属の色々なトウガラシはみんな辛い、というように属というグループ内ではお互いがかもって似ているのです。



お花は世界中からやって来ています! 世界中からやってくるお花と出会ってください!